

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
孫 榮振			
C (商学部)	S (専門科目)	EC (経済)	301 (上級科目)

授業のねらい (概要)	<p>本講義は、グローバル化の中での国際経済関係の構造と動態を広く国際貿易、国際要素移動、国際マクロ経済にわたって理解させ、国際社会の枢要を占めるわが国における公共政策と対外経済政策のあり方、現代の国際経済社会の安定と成長に妥当なレジーム・制度と政策のあり方を考察する基礎を与える。</p> <p>貿易と要素移動によって結合される国際経済システムは、国民経済面からは国際収支と為替相場によって統括され、グローバルには国際通貨体制にみられる適切な国際公共財供給によって統合される。講義では、このような国際マクロ経済学について教授し、特にグローバル・エコノミーにおけるマクロ経済的安定のあり方を検討する。</p> <p>この科目では、DP (ディプロマポリシー) に掲げる商学の各分野に関する基礎知識を得ることを目的とする。</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODククション 授業概要、スケジュール説明、授業の進め方、評価方法、参照するテキスト等の説明。</p> <p>世界経済を構成する様々な部分の動向を観察するために、国家-企業-家計(労働者)の行動の本質を理論と事例の両方を通して理解する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』はしがきを読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明した「国際経済」の全体像を確認しておく。(120分)</p> <p>第2回 国際経済を見る目 世界経済におけるグローバル化、地域化(リージョナル化)の諸概念を理解する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』序章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第3回 国際貿易 ・国際貿易から生まれる利益を理解する。 ・比較優位の原理を理解する。 ・貿易保護政策をとる理由を理解する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第1章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第4回 国際貿易 ・日本の比較優位と貿易パターン</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第1章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第5回 国際金融 ・国際金融取引の原理を理解する。 ・外国為替相場の原理を理解する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第2章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第6回 国際金融 ・資金取引のグローバル化を理解する。 ・単一共通通貨のメリット・デメリットを理解する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第2章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第7回 経済統合 世界経済は様々な文化や政治体制、経済的特徴を含んだ複数の国々によって構成されており、1つのまとまった経済圏、市場としてみることは困難なのかもしれない。しかし、各国の経済は互いに結ばれているのも事実である。独自の経済システムを持つ国々がどのように結ばれているのかを地域化(リージョナル化)の諸概念を解説する。</p> <p>予習(時間)：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第3章を読んでおく。(120分) 復習(時間)：授業で説明したことを確認しておく。(120分)</p> <p>第8回 経済統合 世界経済の潮流、地域経済化の動き(EUやNAFTA、あるいはFTAについて)を確認し、その動機および障害を理解する。</p> <p>・経済統合とは何かを理解する。 ・経済統合の歴史を理解する。</p>

	<p>・地域経済統合の急増を確認する。</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第3章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 貧困と開発 貧困人口比率と世界の貧困状況、BOP市場を理解する。</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第4章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 貧困と開発 ・貧困とは一体何なのか ・貧困をもたらす原因 ・貧困撲滅がなかなか実現できない理由 ・貧困を撲滅・削減するために、何をすべきなのか を理解する。</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第4章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 人口と食料 ・人口増加における問題点？ ・人口転換 ・食料増産と食料不足 を理解する。</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第5章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 人口と食料（事例研究） ・飽食と飢餓 世界食糧システムの隠れた戦い</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第5章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 資源とエネルギー（よりクリーンな世界を目指して） ・エネルギー問題とは何なのかー電力エネルギーとの関連に焦点を絞るー ・エネルギー政策の方向性 ・主要エネルギー源の比較</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第6章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 資源とエネルギー（事例研究） アメリカとドイツの先進事例 再生可能エネルギー・ポートフォリオ・スタンダード</p> <p>予習（時間）：『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』第6章を読んでおく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 総括 第1回から第14回までのまとめを行うと同時に、そこから導き出される国際経済論の意義について論じる。また、試験に関する注意事項に関する説明を行う。</p> <p>予習（時間）：これまでの授業の全体像を確認しておく。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>日本経済が貿易や企業の海外進出、国際投資などを通じて外国の経済とどのように繋がっているかを学習し、将来の日本と世界の経済を展望できる能力を身に付ける。</p> <p>【身に付くスキル】 グローバルな視野・生涯学習力</p>
到達目標	<p>1. 国際経済の全体像を理解できる。 2. 国際経済に関する基本的な用語やトピックを理解することで、経済に関連する新聞、雑誌、論文等を読めるようになる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>学生用のコメントシートを授業ごとに配り、講義内容に関する質問やコメントを提出してもらおう。共有すべきコメントを次回の授業時に紹介する。</p>
履修上の注意	<p>・私語厳禁。場合によっては減点対象とする。 ・関連資料、文献については各回授業中に提示する。</p>
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行う定期試験（筆記試験）；60パーセント 授業内に行うコメントシート；40パーセント</p>
教科書	<p>レジュメや資料を配布する。</p>
参考書・教材	<p>【参考書】 『私たちの国際経済 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと 第3版』 ISBN番号：ISBN 978-4-641-18412-1 著者名：東京経済大学国際経済グループ／著 出版社：有斐閣ブックス 発行年：2013年 価格：2376円 備考：このテキストをベースにしますが、毎回テキスト以外の内容を含むレジュメや資料を配布し、これに基づ</p>

	いて進めます。 【教材】レジュメや資料を配布する。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール、オフィスアワー